



平成18年
8月15日号

No.55

●毎月5・15・25日発行

広報 かもがわ

●編集発行・鴨川市総務部市長公室
広報広聴係

●電話・04(7093)7827

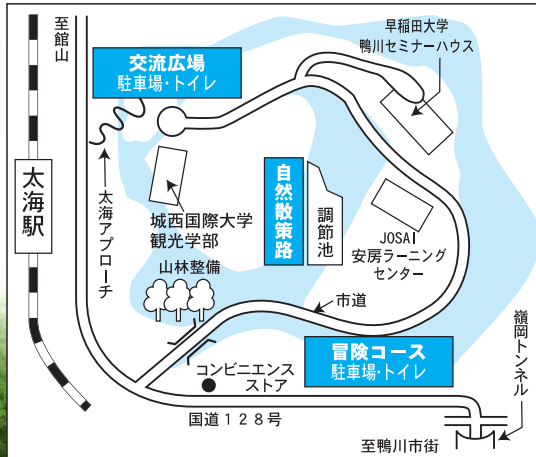
●FAX・04(7093)7850

●住所・〒296-8601 鴨川市横渚1450

●ホームページ
http://www.city.kamogawa.lg.jp/

太海多目的公益用地に整備します

『(仮称)合併記念公園』



市では、太海多目的公益用地に「(仮称)合併記念公園」の建設を始めます。これは、同用地の公園敷地と緑地部分約8.5haに、交流広場や自然散策路、アスレチックコースなどを整備するものです。来年3月には、「学園のまちづくり」拠点に「市民の交流・憩いの場」ができあがります。事業費は、用地取得費(6.4ha分)と工事費などを合わせた約22億7000万円です。この財源には有利な財政支援「合併特例債」を活用。国が約15億1000円(70%)を肩代わりすることで、市の財政負担を大幅に軽減していきます。今回の紙面では、記念公園の計画概要と、「合併特例債」の活用方法について、皆さんにお知らせします。

公園の整備予定地

「(仮称)合併記念公園」の整備は、太海多目的公益用地の造成に伴ってできた公園敷地と緑地部分(約8.5ha)に、自然の地形と景観を生かしながら進められます。同用地にはすでに、早稲田大学セミナーハウスや城西国際大学の「観光学部」・「安房ラーニングセンター」が完成しています。今回の公園設置構想は、「学園のまちづくり」を担うこの用地に「交流・憩いの場」としての機能を加えることで、

野外ステージや散策路など 自然景観を生かした交流・憩いの場

来年3月完成予定

市民皆さんの貴重な財産をさらに有効活用しようというものです。公園用地は、上図のように大きく3つに分かれ、それぞれに「交流広場」と「自然散策路」、「冒険コース」などが造られます。

「交流広場」は公益用地内市道の終点、城西国際大学付近の公園敷地に位置します。広場内には、野外コンサートに利用できるステージや芝生観覧席が設置されるほかサクラ・ツツジの植栽が予定されています。また、彫刻家で名誉市民の長谷川昂氏によるブロンズ像が、モニユメントとして設置されます。

「自然散策路」は1周約400mの遊歩道で、調節池わきの森林に整備されます。散策路沿いの調節池には、四季折々の花を眺めながらのウォーキングが楽しめるよう、さまざまな花の



さらに、城西安房ラーニングセンター付近には「冒険コース」を設置します。コース内に用意される遊具はロープ登りや忍者渡り、ネットウォール、ウッディーネットプレイ、あみだ登り、ネットクライミングの6種類。子どもたち同士やご家族で、気軽にアスレチックを体験いただけます。

このほか、交流広場と冒険コース付近にはトイレと駐車場を設けることも、

合併特例債を活用 事業費22億7000万円の約70%を国が肩代わり

「(仮称)合併記念公園」整備の総事業費は約22億7000万円。その内訳は、(仮)鴨川市開発公社からの公園用地取得費約20億7000万円(6.4ha分)と、公園工事費約2億円です。市では当初、用地取得費を一般財源から支出する予定でしたが、事業実施に伴

う財政負担を少しでも軽くするため、有利な国の財政支援「合併特例債」を、新たな財源として活用します。すでに平成17年10月15日号の広報かもがわ(第25号)で詳しくお知らせしているとおり、「合併特例債」とは、合併した市町村が新しいまちづくり事業を行うために

この特例債を公園整備事業費に当てはめてみると、総事業費約22億7000万円の95%にあたる約21億5700万円が合併特例債の

対象となり、そのうちの7割、約15億1000万円が、国の交付税で賄われるという計算になります。

さらに、この償還に伴う利子分の7割についても、国が肩代わりします。これにより、元金と利子分を合わせて見込まれる約16億4000万円は一般財源で返す必要がなくなることから、今後、道路や教育環境の整備、産業振興、保健・福祉サービスの充実などの財源として活用されます。

借り入れられる地方債で、事業費の約95%に充当することができるとは、借り入れに伴う元利償還金の7割についても、国からの地方交付税で賄われます。

少ない財源で多くの事業を行えることから、財政の健全化や行政サービスの向上に向けた財源確保に役立ちます。

この特例債を公園整備事業費に当てはめてみると、総事業費約22億7000万円の95%にあたる約21億5700万円が合併特例債の

対象となり、そのうちの7割、約15億1000万円が、国の交付税で賄われるという計算になります。

さらに、この償還に伴う利子分の7割についても、国が肩代わりします。これにより、元金と利子分を合わせて見込まれる約16億4000万円は一般財源で返す必要がなくなることから、今後、道路や教育環境の整備、産業振興、保健・福祉サービスの充実などの財源として活用されます。



米国・マニトワックへ市民と交流を！ 「市民友好の翼」の参加者募集

10/6(日) 10/13(日)

■期間 10月6日(日)から13日(日)までの6泊8日

■対象 市内に在住または勤務の方

■参加費(航空運賃、宿泊代など)

①滞在中ホテル利用(2人1室) = 21万8千円

②滞在中ホームステイ = 19万1千円

■募集人員 40人(ホームステイは先着8人。定員になり次第締め切り)

■主な日程 マニトワック市内の公共施設の見学や市民との交流会、シアトルの周遊観光など

■申し込み 8月18日(日)までに市役所3階市長公室内の国際交流協会事務局(☎7093)5931へ。申込用紙は同事務局または天津小湊支所、市民サービスセンター、各出張所にあります

ミシガン湖に面した美しいまちです

を予定しています。

●商工観光課(☎7093)7837

不用品交換コーナー

●譲ります △冷蔵庫70リットル1ドアタイプ・5台(無料)

●譲ってください △冷凍庫(応談)

とじて保存しましょう